校長室から（R元年度）

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校　川上　隆　No．６６

令和２年２月６日（木）発行

ある新聞記事より

読売ＫｏＤｏＭｏ新聞２／６

昨日の放送朝会でお話した内容の記事を見つけました。水が冷たくていやですが、まずは手洗いですよ！

サイエンススペシャル

*毎月第1週に掲載する予定です。「チャレンジ道場」休みました。

ウイルス まず知る

中国の武漢市から広がっている新型肺炎、最近ニュースもこの話題で持ちきりですよね。今週号でも4・5ページで特集していますが、「もし感染したらどうしよう……」と不安な人も多いのでは。そういうときこそ、正確な知識が頼りです。そもそもウイルスってなに？

昨日駅を歩いていたら、マスクつけて中国語を話す人たちがいたのね。そこに通りかかった大人の人が、その人たちを避けるように離れたところに行っちゃったの。なんでかな。

それは……中国の人から「新型肺炎がうつるかも」と思ったんちゃうか。

でも、そんなのおかしいよ。中国の人みんなが新型肺炎なの？　もしもそうだったとしても、道ですれ違っただけでうつるの？　マスクもしてたのに？

正しい知識を持っていないから、そういう行動をする人が出るんや。よっしゃ、今日はウイルスについて教えたるわ。



とける　科学にくわしいスライム

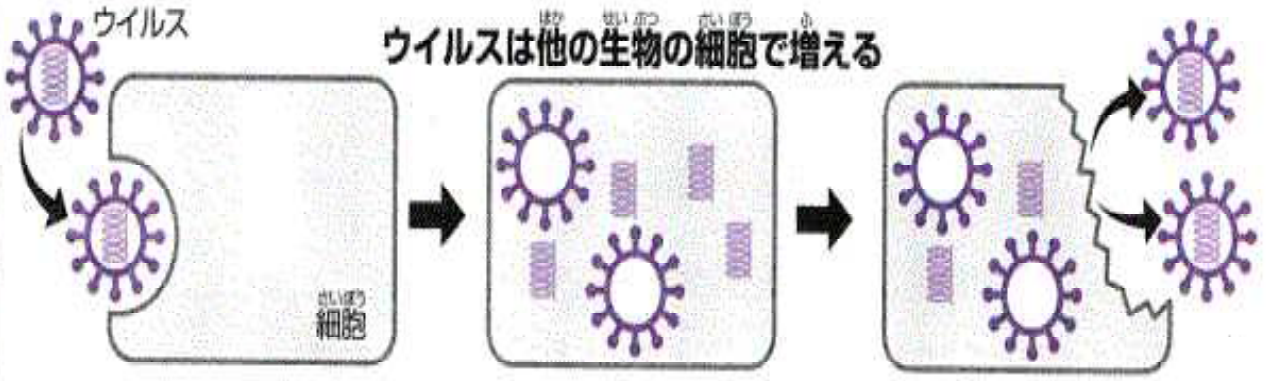


カナ　好奇心旺盛女子



中国・北京で新型肺炎の感染が広がるのを防ごうと、防護服で市民の体温検査を行う様子

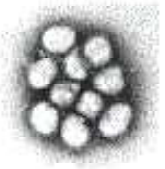
ウイルスは他の生物の細胞で増える



病気を引き起こす主な微生物

	どんな病気を起こす	大きさ	病気を起こすプロセス	治療法
ウイルス	インフルエンザ、エイズ、(一部の)がんなど	普通の顕微鏡で見えないくらい小さい	細胞に入り込んで壊していく	抗ウイルス薬：小さいウイルスが標的なので作りにくい
さいきん	ペスト、破傷風、結核など	小さいけどウイルスの数十～数百倍の大きさ。顕微鏡で見える	毒素を出して体調を悪くさせる	抗生物質：多くの菌に効果のある薬を作りやすい

いい影響を持つものも



インフルエンザウイルス（H1N1pdm）の電子顕微鏡写真（国立感染症研究所提供）

風邪、インフルエンザ、胃腸炎、エイズ、（一部の）がん……。ウイルスによって引き起こされる病気は、身近なものからおそろしいものまで、たくさんあります。ウイルスは人類の敵、なのでしょうか。

実は単純にそうとも言い切れない面もあります。ヒトを含む哺乳類の遺伝子の中には、「サスペース」という、肌に水分を保っておく成分をつくる遺伝子があります。この遺伝子はある種のウイルスが持っている遺伝子とよく似ています。哺乳類がこのウイルスに感染し、遺伝子がとりこまれたと考えられているのです。つまりヒトがつるつるの肌を持っているのは、ウイルスのおかげというわけです。

地球上に生きている生物は、互いにさまざまな影響を及ぼし合っていますが、それには悪い影響もあれば、いい影響もあるのです。

まるで泥棒みたい





そもそも、ウイルスってなに？



ウイルスは、病気を引き起こす微生物のひとつや。「微生物」やけど、細菌なんかと違って「完全な生物」やないんやで。



ええ、それはどういうことなのかな？



生物ゆうんは、「子を産んで増える」もんのことを言うねん。ヒトもそうやし、植物もタネを作るやろ？　でもウイルスは、自分で増えることはできへん。ほかの生き物の中に入って、「ほな、これ借りるで～」って言うて、その生き物の体の一部を勝手に使って増えていくんや。



まるで泥棒が家に住み着いて家族まで作っちゃうみたいな感じだね。



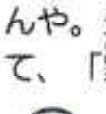
手洗い うがい 大切や



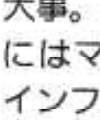
ウイルスは、生き物を形作る細胞っちゅう「家」に入った泥棒みたいなもんや。最後は家族を増やしすぎて、「家」を壊しよるんや。



ウイルスはどうやって体に入るのかな？



感染した人に触ってうつる「接触感染」、感染した人のせきやくしゃみでうつる「飛沫感染」、そのまま空気中にウイルスがただよってうつる「空気感染」もあるな。新型肺炎は接触感染や飛沫感染で広がるっちゅう話やから、こまめな手洗いやうがいで体にウイルスが入らんようにすることが大事。人にうつさんようにするにはマスクが有効や。結局、インフルエンザにならんように気をつけるのと変わらんのや。



あーあ、めんどくさいけど仕方がないか。自分のためだもんね。



自分のためでもあるし、一緒に暮らす家族や学校の友だちのためでもあるんやで。

手洗い爪までしっかり

新型コロナウイルスの感染を防ぐには、丁寧に手を洗うことが大切だ。

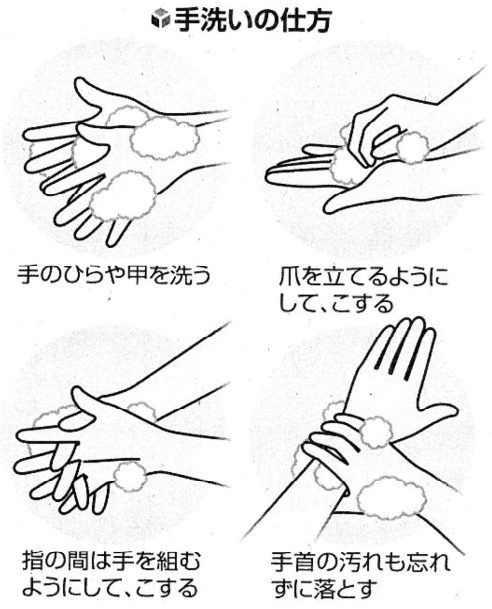
水でぬらした手にせっけんをつけ、両手を合わせて、手のひらと甲をしっかり洗う。指と指の間は、両手を組むようにしてこする。

指先や爪の間にも汚れがある。爪を立てるようにし、反対の手のひらでゴシゴシ洗う。親指は、もう一方の手のひらで包むようにしてきれいにする。手首の汚れも忘れずに落とす。最後は、水でよくせっけんを洗い流す。せっけんがない場合は、流水でしっかり洗う。手洗いをした上でアルコール消毒をすると、より効果的だ。

マスクは、感染者や感染の疑いがある人が着ければ、せきやくしゃみのしぶきの飛散を抑えられるため、周囲への感染拡大を防げる。感染していない人がマスクをした場合の感染防止効果は、「限定的」との考えが一般的だ。新型コロナウイルスの直径は1万分の1ミリ・メートルほどで、マスクの生地の目よりも小さく、素通りしてしまうことが多い。

うがいも、それだけでは感染防止効果は期待できない。まずはしっかりと手洗いをすることが基本だ。

東北医科薬科大の賀来満夫特任教授（感染制御学）は、「（コロナウイルスが原因の）SARS（重症急性呼吸器症候群）などの場合、便からウイルスが検出されることもある。トイレの後に手洗いを徹底することも重要だ」と話している。



昨日の読売新聞朝刊にも手洗いの記事が載っていました。

体にウイルスが入らないようにするために、手洗いやうがいが一番だそうです。マスクをしていれば安心だと思い込むのは危険です。ウイルスは、マスクの生地の目を素通りできる小さなのですから。